

京滋の限界線 予測と一致

金環日食(5月21日)で全国の児童た。

生徒が金環になるかどうかを共同観測した「金環日食限界線共同観測プロジェクト」の研究会が22日、京都市南区の洛陽工業高で開かれ、各地の中間結果が報告された。京都と滋賀は予測された限界線とほぼ一致したが、精度を高めるため、さらに多くの学校からの報告を求めている。

洛陽工1年の鈴木豪さんが月の一方、長浜北星高の山村秀人教諭

全国調査京で中間報告

地形を考慮した場合には滋賀県での観測結果を報告した。限界線が通ると予測された北区の北大路橋周辺での観測を紹介。同上の児童が日食を観察した。米原市高の有本淳一教諭と市の中小高生の観測で、限界線は予測青少年科学センターのとはほぼ一致したという。全国の観測田中功一指導主事が府結果は限界線プロジェクトのホームページで紹介されている。(稲庭篤)



リュレット選定

口野山ロープウェイも

ロープウェイ。架線支両の原型となった「ス持材や支柱の多くの部テンレス鋼製車両群分で、80年以上たった(東急5200系と7000系)」「(横浜市現在も当時の物が使われ)

シネコン導入 来夏に完了

7割デジタル化

ム、消えゆく
国の映画館

全国約3300スクリーンの7割を占める大手シネコン10社が、遅くとも来夏までにデジタル上映のための映写設備の導入を完了する予定であることが22日までに、共同通信の調べでわかった。独立系映画館も半数近くが対応済みとられ、急速に「映画館のデジタル化」が進んでいる。3D映画など、製作側や観客にメリットの多いデジタル化だが、フィルムの上映の機会が減るほか、金力に乏しい映画館の存続が厳しくなることから、画文化の衰退を懸念するもある。米ハリウッドの手映画会社が主導するデジタル化は、撮影製作費や送コストの削減、海賊版策などの面で優れ、世界地に進んでいる。しかし